

岩手県 2020 年度学校健診後治療調査結果

2021 年 6 月 1 日

岩手県保険医協会

調査の目的：

新型コロナウイルスの感染を恐れ受診を控える動きが本県でも顕著になっている中、児童・生徒の健康状態及び学校健診で要受診とされた児童・生徒の受診実態を把握すること。

調査期間：2021 年 2 月 2 日～3 月 15 日

(2020 年度に実施した学校健診についての調査)

対象：県内全ての国公立及び私立の小・中・高校・特別支援学校に調査票を送付した。556 校に送付し回答数は 192 校（回答率 34.5%）だった。

(内訳は次の通り)

	小学校	中学校	高校	特別支援学校	合計
送付数	304	155	80	17	556
回答数	115	48	23	6	192
回答率	37.8%	31.0%	28.8%	35.3%	34.5%

回答者：主に各学校の養護教諭

<資料目次>

- 1、 小学校の結果…P2～7
- 2、 中学校の結果…P8～12
- 3、 高校の結果…P13～16
- 4、 特別支援学校の結果…P17～19
- 5、 まとめ…P20

小学校

1. 行った健診

①歯科検診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
19,210	5,757	30.0%	3,230	56.1%	2,527	43.9%

②眼科健診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
19,291	1,072	5.6%	659	61.5%	413	38.5%

③視力検査

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
19,391	5,851	30.2%	3,497	59.8%	2,354	40.2%

④耳鼻科健診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
15,395	4,262	27.7%	2,061	48.4%	2,201	51.6%

⑤聴力検査

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
14,447	134	0.9%	101	75.4%	33	24.6%

⑥内科健診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
19,294	747	3.9%	398	53.3%	349	46.7%

要受診者数のうち、未受診数の割合は歯科検診、視力検査、内科健診で4割を超えた。耳鼻科健診は5割を超えている。

未受診の要因として関連が深いと思われる家庭状況について最も多かったのが、「保護者の児童・生徒の健康への理解不足」(54件)で、次いで「共働き」(31件)、「コロナによる受診控え」(26件)となった。コロナによる影響事例は、「肥満児・生徒の増加」(16件)、「視力低下児・生徒の増加」(7件)が続いた。

寄せられた意見は、「運動量の低下か全体的にストレスの増加」「ゲーム依存の症状」「令和2年3月の緊急事態宣言による休校で学校とスポ少の活動がストップし、肥満度の増加(2~4%→令和2年4月が10%)しましたが、活動の再開と同時に解

消されました。(令和3年1月 0.6%)」「1学期に歯科検診を予定していたが、コロナの影響により延期。2学期に実施した」など、コロナの影響が見られた。(P6、7より)

2. 歯科検診で口腔内が崩壊状態(むし歯(未処置歯)が10本以上ある、歯の根しか残っていないような未処置歯が何本もあるなど、咀嚼が困難な状態)

いた		いなかった	
28	24.3%	87	75.7%

◎「いた」場合(複数回答可)

本む 以上 歯 10	る何未 本処 も置 あが	難咀 嚼が 困	そ の 他
22	6	0	2

- ・むし歯が5~7本ある。

3. 眼科健診・検査で要受診にも関わらず未受診での困難事例

いた		いなかった	
14	12.3%	100	87.7%

◎「いた」場合(複数回答可)

慮多視 に力 困座低 る席下 配が	修れメ 理たガ ま まが 未壊	そ の 他
3	2	8

- ・メガネをしていても度数が合っていなかったり、メガネやコンタクトをしていないので、視力低下が心配。
- ・視力検査4月、10月にC、Dで再検査(精密検査のすすめ)を出しても受診していない。
- ・生活に支障がないため。
- ・眼科受診後要メガネの所見があったが、メガネをかけたくないという理由で使用しない。

- ・受診はしたが、ドクターにもメガネが必要といわれたが、本人が拒否して作っていない。
- ・メガネのサイズが合わず、使用すると痛みがでるが、修理していない。長い間、治療勧告を出しているが、受診していない。そのため目を細めながら生活している。
- ・兄弟の対応のため、通院受診する時間がとれない。
- ・眼科に行かない子は入学からずっと受診しないので、年々視力が悪くなっている。
- ・メガネを使用しているものの矯正視力が低下し、度数が合っていない。
- ・6年女子でメガネがあっていないのに、中学に行ってから新しいメガネにするとの事。

4. 耳鼻科健診・聴力検査で要受診にも関わらず未受診での困難事例

いた		いなかった	
4	3.5%	110	96.5%

- ・生活に支障がないため。
- ・学校医より、アレルギーの症状がある時受診。コロナで積極的に治療しなくてもよい。
- ・耳鼻科医院に行っても診察まで待つことができない。複数回受付はしているが診察にいたっていない。
- ・学校医より病名はついたが治療については症状がある時受診。といわれ、残る2人は春先にならないと受診しないと思われる。

5. 内科・心臓検査・尿検査・皮膚科項目・運動器健診で要受診にもかかわらず未受診での困難事例

いた		いなかった	
17	15.0%	96	85.0%

◎「いた」場合（複数回答可）

繁 に 来 室	頭 痛 を 訴 え 頻	年 々 進 行	脊 柱 側 弯 症 が	疹 膚 炎 疑 い で 湿	ア ト ピー 性 皮	え て い る	心 の 問 題 を 抱	の 増 加	不 登 校 児 ／ 生 徒	増 加	肥 満 児 ／ 生 徒 の	の 増 加	低 栄 養 児 ／ 生 徒	そ の 他
0	0	0	0	5	5	1	1	1	1	8	8	0	0	5

- ・心臓健診で要受診だが受診勧告に応じない。
- ・要受診のため、何度も治療を勧めるが、なかなか受診に至らない。
- ・家庭の衛生状態が悪いため、アトピーが悪化しているが、病院受診せず家で軟膏を

塗るなどもししていない（病院受診には、経済的な問題が関わっている）（母子家庭、父子家庭に多くみられる）。

- アトピー悪化しているが、保護者が無関心や家の都合を理由に受診しない。肌をかきやすいため夏場、長袖長ズボンを脱ぎたがらず熱中症が心配になった。プールも好きだが入りたくないというなど、学校生活に支障あり。副校長、養教、担任から、繰り返し家庭へお世話をし、ようやく受診。しかし通院が継続せず、悪化と改善を繰り返している。
- 心疾患の可能性を指摘されているが、受診に至らない。
- 家庭の事情もあり、SSW（スクールソーシャルワーカー）も介入するが受診していない。
- 市で行っている生活習慣病予防検診対象（肥満度 30%以上）にもかかわらず「コロナが心配なので受診控えです」といい受診しない。

6. 未受診の要因として関連が深いと思われる家庭状況（3つまで選択）

経済的困難	ひとりの親家庭	共働き	失業中	D V 保護者による	無関心	心身不安定	理解不足	発達障害がある	受診控え コロナによる	その他
19	19	31	0	0	18	5	54	3	26	11

- 運転免許がなく病院へ行くのに不便。
- 親子ともに多忙。親は仕事？子供はスポーツ等。
- 児童本人が受診を嫌がる。
- 眼科、耳鼻科、小児科の専門医療機関が近くないため。受診となると車で 30 分～1 時間位かかる。
- 医療過疎化のため。
- 発達障害が疑われる児童。
- 症状がある時に受診と指示あり。
- 多忙のため。
- 幼い頃のトラウマ（特に歯医者）。
- 子どもに時間がない（習い事）。
- 家庭状況で困難な例はありませんでした。未受診の理由としては、アレルギー等、季節的な症状のケースも含まれています。

7. 新型コロナによる影響事例

あり		なし	
31	29.5%	74	70.5%

◎「あり」の場合（複数回答可）

増加 肥満児・生徒の	増加 の増加 低栄養児・生徒	増加 むし歯のある児 ・生徒の増加	増加 視力低下児・ 生徒の増加	増加 生徒の増加 保健室登校児・	増加 生徒の増加 保健室登校児・	その他
16	0	2	7	2	1	13

- ・運動量の低下か全体的にストレスの増加。
- ・家庭で過ごす時間が増えゲーム依存、ゲームに関わる人間関係のトラブル、生活習慣の乱れは確実に把握しきれないほど増えている。
- ・ゲーム依存の症状。
- ・直接統計的に影響があるか不明だが、運動不足や学校での歯科指導が不十分なため家庭の教育力が低いところでは、むし歯がさらに増えているように思う。
- ・出席停止で休んだ児童 4 名。
- ・先天性疾患のカテーテル検査延期。
- ・コロナだけに限らず様々な原因が複合しています。
- ・コロナによる学校行事の縮小で児童の不満や心の問題。
- ・マスクによって普段の児童の口腔の様子をすぐに見ることができない。歯肉炎も少し増えている感じ。（検診ではなく個別の歯科指導による）
- ・入学とともに他県から転居したが、主治医を転居後に変更しておらず、受診控えの傾向がより強くなってしまった。
- ・1 学期に歯科検診を予定していたが、コロナの影響により延期。2 学期に実施をした。

8. 本調査の感想や書ききれない事例など

- ・未受診ではないが、視力 D 判定で眼科受診後、メガネが必要と言われたが、なかなかメガネの購入にいたらず受診から 2 ヶ月以上経過している。黒板の文字がみえにくく、学習に支障をきたしている。経済的な理由の他に、近くにメガネ店がないとか、様々な理由が考えられる。
- ・設問 7 について、令和 2 年 3 月の緊急事態宣言による休校で、学校とスポ少の活動がストップし、肥満度の増加（2～4%→R2,4 月 10%）しましたが、活動の再開と同時に解消されました。（R3, 1 月 0.6%）
- ・肥満傾向の児童、不登校傾向の児童が増加していますが、それがコロナ感染拡大に

よる影響なのか分かりません。本校は視力 B 以下の児童が多いのが健康課題の一つです。学校の中で座席配慮に困るという悩みは中高学年の担任全てが抱えています。盛岡市医師会で小児生活習慣健診を実施していますが、肥満度が高いほど受診しないのが実態です。

- 有所見でも児童本人が困っていない。症状がひどくないということで「ならば、受診しなくてもよいかな」という心理が親にあるように感じる。放っておく影響を伝えても受診しない場合の治療勧告には限界を感じる。
- 保健室利用者が増えた。内科外科両方。
- 子ども医療費助成制度により、受診を勧めやすくなった。ほぼ 100%の受診率となっている。新たな課題として、歯列、咬合所見がある子の対応。多くの子が矯正をする中、経済的に矯正できない子がでて来ている。
- 受診率が低いと思われるかもしれませんが、コロナの影響ということではなく例年ほぼ同じ状況です。(受診していないときは、再度受診を勧めています)
- 例年より健診後の受診率が高くなりました。コロナの影響で健診が7月になり、勧告書を出したのが夏休み直前で、そのまま夏休みの受診につながったのではないかと思います。コロナによる受診控えはなかったように思います。
- 経済的な理由や保護者の健康に対する意識の違い等により、こども達の健康格差が広がっていることを実感する。
- 本年度の検診後の受診は、コロナ感染を心配して受診控えがありました。

中学校

1. 行った健診

①歯科検診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
7,792	2,258	29.0%	832	36.8%	1,426	63.2%

②眼科健診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
7,665	520	6.8%	213	41.0%	307	59.0%

③視力検査

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
7,849	3,230	41.2%	1,557	48.2%	1,673	51.8%

④耳鼻科健診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
5,021	1,495	29.8%	469	31.4%	1,026	68.6%

⑤聴力検査

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
5,262	46	0.9%	26	56.5%	20	43.5%

⑥内科健診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
7,701	371	4.8%	175	47.2%	196	52.8%

要受診者数のうち、未受診者数が歯科検診と耳鼻科健診で6割を超えた。眼科健診、視力検査、内科健診は5割を超えた。未受診者数の割合は小学生より高い。

未受診の要因として関連が深いと思われる家庭状況について最も多かったのが、「保護者の児童・生徒の健康への理解不足」(28件)で、次いで「コロナによる受診控え」(17件)、「共働き」(13件)だった。

コロナによる影響事例は、「肥満児・生徒の増加」(10件)が最多だった。寄せられた意見は、「感染が心配で受診をためらう様子も見られた」「基礎疾患があり、新型コロナウイルス感染症の不安から登校できなくなった生徒がいた」など、中学生もコロナの影響が見られた。(P10~12より)

2. 歯科検診で口腔内が崩壊状態（むし歯（未処置歯）が10本以上ある、歯の根しか残っていないような未処置歯が何本もあるなど、咀嚼が困難な状態）

いた		いなかった	
18	35.3%	33	64.7%

◎ 「いた」場合（複数回答可）

本むし以上歯10	る何未本処も置あが	難咀嚼が困	その他
16	0	0	2

- ・むし歯が3本、COが13本の生徒1名。
- ・発達障害の生徒であり、保護者は健康に関してあまり関心がない様子。

3. 眼科健診・検査で要受診にも関わらず未受診での困難事例

いた		いなかった	
7	14.9%	40	85.1%

◎ 「いた」場合（複数回答可）

困く視る座力低配慮が多	たメたまガネが壊れ	その他
0	1	3

- ・合わない度数のものを2～3年そのままにして使用している。または、メガネを作っていない。
- ・低視力のため治療勧告を行っても受診しない。
- ・視力低下が進み治療勧奨を行っても受診しない。
- ・メガネをかけずに放置している。
- ・ネットでコンタクトレンズを購入。度数を自分で決める。

4. 耳鼻科健診・聴力検査で要受診にも関わらず未受診での困難事例

いた		いなかった	
5	10.4%	43	89.6%

- ・毎年同じように要受診となっているが受診していない。
- ・扁桃肥大で主治医から手術を勧められているが保護者は不要だと判断している様子です。またコロナ感染症への心配もあり、本年度の受診を見送ったと連絡があった。
- ・コミュニケーションに課題がある生徒だが、保護者が難聴だからと向き合おうとしない。
- ・難聴で受診して補聴器をつけることを指導されているが、つけていない。

5. 内科・心臓検査・尿検査・皮膚科項目・運動器健診で要受診にもかかわらず未受診での困難事例

いた		いなかった	
5	10.9%	41	89.1%

◎「いた」場合（複数回答可）

繁に入室 頭痛を訴え頻	年々進行 脊柱側弯症が	疹 膚炎疑いで湿	アトピー性皮	えている 心の問題を抱	の増加 不登校児／生徒	増加 肥満児／生徒の	の増加 低栄養児／生徒	その他
0	0	3	1	2	3	0	1	

- ・心理的負担からの拒否。

6. 未受診の要因として関連が深いと思われる家庭状況（3つまで選択）

経済的困難	ひとり親家庭	共働き	失業中	DV 保護者による	無関心	心身不安定	理解不足	発達障がある	受診控え	コロナによる	その他
11	12	13	1	2	7	2	28	3	17	8	

- ・保護者が外国人。
- ・生徒会の活動や部活等で忙しく、受診が後回しになっている。
- ・生徒自身も無関心または苦に感じていない。
- ・生徒本人の自覚症状がない（もしくは薄い）と受診につながらない。生徒・保護者

- 共、忙しく受診が後回しになる。
- ・仕事と部活動の休みが合わない。
- ・親が仕事で忙しく時間がとれない。
- ・医療機関への交通の便が悪いため、保護者が送迎しなければならない。仕事を休んでの送迎は難しいようだ。
- ・生徒本人が精神的に不安定。

7. 新型コロナによる影響事例

あり		なし	
15	23.8%	48	76.2%

◎「あり」の場合（複数回答可）

増加	肥満児・生徒の増加	低栄養児・生徒の増加	むし歯のある児童・生徒の増加	視力低下児・生徒の増加	保健室登校児・生徒の増加	保健室登校児・生徒の増加	その他
10	0	1	1	0	1	7	

- ・メディア使用時間が長くなった。
- ・治療勧告（むし歯）を出したが、受診をした生徒の割合が昨年度よりも減少した。
- ・受診控え。
- ・感染が心配で受診をためらう様子も見られた。
- ・基礎疾患があり、新型コロナ感染症の不安から登校できなくなった生徒がいた。
- ・運動する機会の減少による体力の低下。

8. 本調査の感想や書ききれない事例など

- ・眼科健診で、困難事例ではないですが、「目を細めて見れば大丈夫」と言って受診をしない生徒は何名かあります。
- ・コロナ感染拡大による受診控え、今年はこれが特に多い。
- ・医療機関を受診しているが、学校から発行された勧告書（受診連絡票）を提出していないケースも多いので、実際に医療機関を受診している生徒は低く見積もっても2割増し程度と思われます。（追跡不可能ですが）
- ・歯科健診で、歯石保有者が6名あり、そのうち4名はう歯なし者。定期的に受診する習慣がないのか、定期受診を延期しているのか。
- ・コロナ禍で健診予定が変更になり、7月に延期になった。感染対策をしながらの実施で試行錯誤の連続でした。

- 現在、宮古市においては中学生までの医療費助成制度により医療費は無料となっている。にもかかわらず、受診率が伸びない背景には、保護者の無関心、ネグレクトがある事例もある。また歩いて通院できる範囲内に歯科医院があるにもかかわらず受診率が伸びない背景には、1人では受診（通院）させられない、通院したくないという親と子の考えがあると感じる。学区内で普段通学している場所にあることから、生徒の社会性を育て段階的に精神的自立を促すために、また、社会の中で成功体験を増やしていき、自信や自己肯定感を育てるためにも、中学生位の生徒には歯科医院、家庭、学校が協力して、自主的に通院できる環境をつくりあげる必要もあるのではないかと思う。
- コロナによる仕事の中止等により、不登校生徒が再登校するきっかけを失いました。登校しぶりも増加しました。学校生活は学習だけではなく、取り組みとの関わりで充実するものと再確認させられました。

高校

1. 行った健診

①歯科検診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
7,480	2,347	31.4%	437	18.6%	1,910	81.4%

②眼科健診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
7,146	255	3.6%	71	27.8%	184	72.2%

③視力検査

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
7,599	2,391	31.5%	903	37.8%	1,488	62.2%

④耳鼻科健診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
3,900	716	18.4%	126	17.6%	590	82.4%

⑤聴力検査

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
5,449	37	0.7%	9	24.3%	28	75.7%

⑥内科健診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
7,550	519	6.9%	67	12.9%	452	87.1%

要受診者数のうち、未受診者数の割合は歯科検診と耳鼻科健診、内科健診で8割を超えた。眼科健診と聴力検査は7割を超え、一番低かった視力検査でさえ未受診者数は6割を超えている。高校生は状態の放置が著しい結果となった。

未受診の要因として関連が深いと思われる家庭状況について最も多かったのが、「経済的困難」(9件)、次いで「保護者の児童・生徒の健康への理解不足」(8件)で、「一人親家庭」(5件)、「コロナによる受診控え」(5件)となった。寄せられた意見は、「受診が必要なケースでも、コロナに感染する危険があるので保護者が病院に連れて行ってくれないという生徒がいる。このようなケースがあるので、学校としても今までのような積極的な受診勧告はしにくい状況」など、やはりコロナの影響が

見られた。(P15、16より)

2. 歯科検診で口腔内が崩壊状態（むし歯（未処置歯）が10本以上ある、歯の根しか残っていないような未処置歯が何本もあるなど、咀嚼が困難な状態）

いた		いなかった	
13	56.5%	10	43.5%

◎ 「いた」場合（複数回答可）

本む 以上 上歯 10	る何未 本処 も置 あが	難咀 嚼が 困	そ の 他
13	0	0	0

- ・未処置歯が12本あり現在治療中。コロナ関係で秋に検診を行ったため、受診件数が少ないです。また、今年度はあまり強く受診を勧めておりません。

3. 眼科健診・検査で要受診にも関わらず未受診での困難事例

いた		いなかった	
1	4.5%	21	95.5%

無回答…私立1校

◎ 「いた」場合（複数回答可）

困る く座 る席 配 慮 に 多	たメ まガ まネ が 未 修 理 れ	そ の 他
0	1	0

- ・視力の左右差があるままスポーツをして、ケガにつながりそうな事があった。

4. 耳鼻科健診・聴力検査で要受診にも関わらず未受診での困難事例

いた		いなかった	
1	4.5%	21	9.5%

無回答…私立1校

5. 内科・心臓検査・尿検査・皮膚科項目・運動器健診で要受診にもかかわらず未受診での困難事例

いた		いなかった	
2	9.0%	20	90.9%

無回答…私立1校

◎「いた」場合（複数回答可）

繁に 頭痛を訴え頻 に 来室	年々 進行 脊 柱 側 弯 症 が	疹 膚 炎 疑 い で 湿	ア ト ピー 性 皮 膚	心 の 問 題 を 抱 え て い る	不 登 校 児 ／ 生 徒 の 増 加	肥 満 児 ／ 生 徒 の 増 加	低 栄 養 児 ／ 生 徒 の 増 加	そ の 他
0	0	0	0	0	1	0	0	2

- ・発達障害のある生徒で、要精密検査の必要性を何度説明しても理解できない。
- ・尿糖3+ 受診勧告に応じない。

6. 未受診の要因として関連が深いと思われる家庭状況（3つまで選択）

経 済 的 困 難	ひ と の 親 家 庭	共 働 き	失 業 中	D V	保 護 者 に よ る	無 関 心	心 身 不 安 定	理 解 不 足	発 達 障 が あ る	受 診 控 え	コ ロ ナ に よ る	そ の 他
9	5	4	0	1	0	0	0	8	1	5	7	

- ・受診の必要性を感じていない。受診する時間がとれない（生徒）。
- ・部活や模試による時間不足。
- ・保護者が忙しい（心身共に余裕がない）。
- ・部活動などで平日に時間がとりにくい。
- ・生徒自身の健康に対する意識。
- ・自覚症状がないため受診しない。
- ・欠席のため。

7. 新型コロナによる影響事例

あり		なし	
2	9.1%	20	90.9%

無回答…私立1校

◎「あり」の場合（複数回答可）

増加	肥満児・生徒の増加	低栄養児・生徒の増加	童・生徒の増加	むし歯のある児	視力低下児・生徒の増加	保健室登校児・生徒の増加	保健室登校児・生徒の増加	その他
	0	0	0	0	0	0	0	1

- 全体としては増加していないが、肥満ややせになった生徒がいる。昨年3月の休校中、何もやる気が起きず食事をする必要を感じなかったという生徒もいた。

8. 本調査の感想や書ききれない事例など

- 設問7で「なし」と回答しましたが、肥満の生徒、視力低下した生徒は昨年度より明らかに増加していました。全てが新型コロナの影響であるとは言い切れませんが、影響は出ていると思われます。
- 運動器健診は内科健診中で行っています。
- 歯科健診：要受診の内容がう歯のみか、歯周疾患、顎関節も含むか、明記して頂きたい。そして項目毎の集計であれば比較的簡単ですが、一人で複数項目を重複しているため人数は数えにくいです。学校医と相談して、CO、GO、ZSも受診するよう通知しているので、さらに受診人数を数えにくいです。今回は未処置歯の人数および未処置歯の受診数のみ報告します。（Gはありません。）
内科健診：内科医の健診についてなのか、心臓・貧血・結核・尿検査を含むか明記して頂きたい。いずれにしても医者診断以外予防医学協会に依頼している検査なので、健診日程も全て違います。診断数も延べになるので集計方法を検討してください。
- 受診が必要なケースでも、コロナに感染する危険があるので保護者が病院に連れて行ってくれないという生徒がいる。このようなケースがあるので、学校としても今までのような積極的な受診勧告はしにくい状況。
- 受診率の低さは、今年に限ったものでなく、もともと低い。受診をしない要因として、様々な理由、家庭の事情も考えられると感じているが、全てではなく、極めて個人的な問題であり、学校としても全てを把握出来るものではないので、回答しかねます。
- 要受診にはなるものの症状としては軽いものも多いため、なかなか受診していただけないことが多いです。

特別支援学校

1. 行った健診

①歯科検診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
403	182	45.2%	78	42.9%	104	57.1%

②眼科健診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
355	10	2.8%	8	80.0%	2	20.0%

③視力検査

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
382	172	45.0%	72	41.9%	100	58.1%

④耳鼻科健診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
356	79	22.2%	44	55.7%	35	44.3%

⑤聴力検査

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
217	20	9.2%	13	65.0%	7	35.0%

⑥内科健診

健診人数	要受診者数		受診人数		未受診者数	
410	34	8.3%	25	73.5%	9	26.5%

要受診者数のうち、未受診者数の割合は、歯科検診と視力検査で5割を超えた。耳鼻科健診は4割を超えたが、他の検査は3割台及び2割台であり、小・中・高校より受診率は高かった。

未受診の要因として関連が深いと思われる家庭状況について最も多かったのが、「保護者の児童・生徒の健康への理解不足」(4件)で、次いで「経済的困難」(3件)だった。コロナによる影響事例は、「肥満児・生徒の増加」(1件)だった。寄せられた意見は、「喘息を持つ生徒が通学のための電車に乗れず登校が難しい」「健診が実施できず」「外出を自粛しているために病院にも行っていないという者もいると思われる」など、コロナの影響が見られた。(P19より)

2. 歯科検診で口腔内が崩壊状態（むし歯（未処置歯）が10本以上ある、歯の根しか残っていないような未処置歯が何本もあるなど、咀嚼が困難な状態）

いた		いなかった	
3	50.0%	3	50.0%

◎「いた」場合（複数回答可）

本む 以し 上歯 10	る何未 本処 も置 あが	難咀 嚼が 困	そ の 他
2	2	0	0

3. 眼科健診・検査で要受診にも関わらず未受診での困難事例

いた		いなかった	
1	16.7%	5	83.3%

◎「いた」場合（複数回答可）

困く視 る座力 席低 配下 慮が に多	たメ たまガ ままネ 未ネ 修が 理壊 れ	そ の 他
0	0	1

・その他…測定できない児童生徒が多いこと。

4. 耳鼻科健診・聴力検査で要受診にも関わらず未受診での困難事例

いた		いなかった	
5	10.6%	42	89.4%

5. 内科・心臓検査・尿検査・皮膚科項目・運動器健診で要受診にもかかわらず未受診での困難事例

いた		いなかった	
1	16.7%	5	83.3%

◎「いた」場合（複数回答可）

頭に 頭痛を訴え頻 繁に来室	脊 柱側 弯症が 年々進 行	疹 膚炎 疑いで 湿	ア トピー 性皮 膚	心 の問 題を 抱 えて いる	不 登校 児／ 生徒 の増 加	肥 満児 ／生 徒の 増加	低 栄養 児／ 生徒 の増 加	そ の 他
0	0	0	0	0	0	0	0	1

6. 未受診の要因として関連が深いと思われる家庭状況（3つまで選択）

経 済的 困 難	ひ と り 親 家 庭	共 働 き	失 業 中	D V 保 護 者 に よ る	無 関 心	心 身 不 安 定	理 解 不 足	発 達 障 が あ る	受 診 控 え	コ ロ ナ に よ る	そ の 他
3	2	1	0	0	0	2	4	1	0	0	1

・その他…家庭の事情。

7. 新型コロナによる影響事例

あり		なし	
2	33.3%	4	66.7%

◎「あり」の場合（複数回答可）

増 加	肥 満 児 ・ 生 徒 の 増 加	低 栄 養 児 ・ 生 徒 の 増 加	童 ・ 生 徒 の 増 加	む し 歯 の あ る 児	視 力 低 下 児 ・ 生 徒 の 増 加	保 健 室 登 校 児 ・ 生 徒 の 増 加	保 健 室 登 校 児 ・ 生 徒 の 増 加	そ の 他
1	0	0	0	0	0	0	0	1

・喘息を持つ生徒が通学のための電車に乗れず登校が難しい。健診が実施できず。

8. 本調査の感想や書ききれない事例など

・受診控えというよりも外出を自粛しているために、病院にも行ってないという者もいると思われる。歯科受診勧告は今年度2回行っているが、例年よりも2回目の勧告後に受診した者が少なかったように感じる。（理由がコロナ関連かは不明ですが）

まとめ

未受診の要因一

未受診の要因として関連が深いと思われる家庭状況で最も多かったのは、小・中・特別支援学校では「保護者の児童・生徒の健康への理解不足」であり、高校は「経済的困難」であった。また共通して上位だったのが「コロナによる受診控え」「共働き」「理解不足」「経済的困難」だった。意見には「親が忙しくて時間が取れない」「本人が受診の必要性を感じていない」「家庭の事情」など様々寄せられた。

「保護者の理解不足」「コロナによる受診控え」「経済的事情」や「親が忙しい」などは児童・生徒本人の責任ではない。児童・生徒の心身の健康を守る上で、行政・保護者・学校などが連携し速やかに必要な受診が可能となる仕組みを構築していく必要がある。

コロナの影響事例一

新型コロナによる影響事例で一番多かったのは「肥満児・生徒の増加」、次いで「視力低下児・生徒の増加」、「保健室登校児・生徒の増加」と続いた。

自由意見欄からは、「運動量の低下か、全体的にストレスの増加」「家庭で過ごす時間が増えゲーム依存、ゲームに関わる人間関係のトラブル、生活習慣の乱れは確実に把握しきれないほど増えている」「コロナによる学校行事の縮小で児童の不満や心の問題」「1学期に歯科検診を予定していたが、コロナの影響により延期。2学期に実施した」「マスクによって普段の児童の口腔の様子をすぐに見ることができない。歯肉炎も少し増えている感じ」「本年度の健診後の受診は、コロナ感染を心配して受診控えがありました」「基礎疾患があり、新型コロナ感染症の不安から登校できなくなった生徒がいた」「受診が必要なケースでも、コロナに感染する危険があるので保護者が病院に連れて行ってくれないという生徒がいる」「喘息を持つ生徒が電車に乗れず登校が難しい」「市で行っている生活習慣病予防検診対象（肥満度30%以上）にもかかわらず「コロナが心配なので受診控えです」と言い受診しない」など、コロナ禍が児童・生徒の健康に一定の影響を及ぼしていることが判明した。

今回の調査は、新型コロナウイルス感染症が学校健診や受診、児童・生徒の健康に一定の影響を及ぼし、健康悪化が危惧される結果となった。特にコロナ感染を恐れての受診抑制により未受診者がいるとの養護教諭の指摘は重大である。

こうした実態についてまずは行政が調査を行い、要受診の児童・生徒に対して必要な受診を促すことや、受診できる体制を整えるべきである。

未受診をなくす対策として、①高校生まで医療費を無料とすること ②眼鏡や補聴器の購入費用及び歯科の矯正費用の助成を手厚くすること ③受診スケジュールなどの計画を作り確実に受診させること ④予算を確保し養護教諭を複数体制とすること ⑤保護者や児童・生徒本人への健康教育の充実を図ること、などが必要ではないだろうか。